

**寺澤** 各先生から、「私自身が感動した症例」を紹介していただきました。残された時間で、さらに先生方が感動した、驚いた症例をご紹介いただきます。

### ストレス・多愁訴に漢方治療 衝逆(動悸・耳鳴)に柴胡桂枝乾姜湯

横山 吉益東洞が言われる「衝逆」に合致した症例を紹介 します。

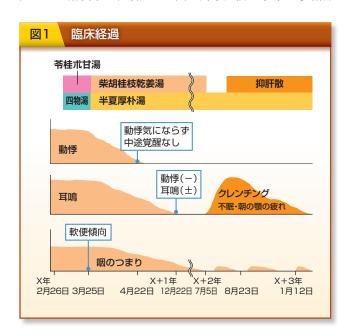
症例は50歳の女性、主訴は耳鳴と動悸です。仕事は電話によるクレーム対応であり、職場では常に緊張を強いられています。約2年前から左耳鳴がありましたが、耳鼻咽喉科では加齢性変化によるものとの説明で、メコバラミン等を処方されましたが治まらず、疲れると症状が強くなるという状態が続いていました。また、数日前からは咽のつまりと動悸を感じ始めました。これは午後になると強くなりますが、脈に乱れはありませんでした。甲状腺機能などの諸検査に異常はなく、現代医学的には疲労・ストレスおよび更年期を背景とした自律神経症状と推察しました。

患者さんは非常に理知的で落ち着いた方ですが、顔の赤み、寝汗、さらに腹候が特徴的で、腹力は軟弱で脇胸満微結の状態と著しい腹動を触れました。腹候や症候から柴胡桂枝乾姜湯の正証と考えられましたが、月経不順で更年期症候群に伴う気逆の改善を目的に、婦人科的なアプローチとして苓桂朮甘湯と四物湯を用いました。しかし、軟便傾

向などの腹部症状が出現したため、再度腹証等を参照して 柴胡桂枝乾姜湯と半夏厚朴湯に転方したところ、症状は速 やかに消失し、睡眠の質も改善しました。約1年半後には、 咽のつまりもさほど気にならなくなったため、柴胡桂枝乾 姜湯は中止しました。

ところが、クレンチング、不眠、朝の顎の疲れ、の訴えがあったため、抑肝散の服用を開始したところ、症状は消失しました( $\mathbf{図1}$ )。

柴胡桂枝乾姜湯の原典の記載は**図2**のとおりです。九鬼 先生のご講演中に、腹証では典型的な症候はなくても暗黙



こんな時には漢方を-私自身が感動した症例-



#### 図2 柴胡桂枝乾姜湯

傷寒 已に発汗し 復た之を下し 胸脇満微結し 小便不利 渇して 嘔せず 但だ頭に汗多く往来寒熱し 心煩する証

『傷寒論』太陽病下篇

瘧 寒多くして微しく熱有り 或は但だ寒して熱せざる証

「金匱要略」瘧病篇附方

#### 吉益東洞曰く

按ずるに 頭に汗出づる者は 是れ衝逆也 当に胸腹に動あるの証有るべし

知の中で捉えていくということでしたが、症状と腹証がピ タッとはまるような典型的な症例には奏効することを実 感しました。本症例は、柴胡桂枝乾姜湯の正証ですが、服 用中止後にクレンチングと不眠が出現し、この症状に対し ては抑肝散が効いています。柴胡桂枝乾姜湯の「衝逆を治 す」という効果はもちろんありましたが、他にも抗ストレ ス作用として、同じ柴胡剤の仲間である抑肝散の筋緊張緩 和の効果もあったのではないかと推察しました。

寺澤 腹証から見ても典型的な柴胡桂枝乾姜湯証なので しょうが、衝逆を治す非常に単純な処方として、苓桂甘棗 湯などは考えませんでしたか。

横山 私は苓桂甘棗湯を、不安が前面に出るような、いわ ば発作性の不安をイメージしており、どちらかというと日常 的なストレスを考慮して肝へのアプローチを優先しました。

寺澤 九鬼先生にご紹介いただいた柴胡加竜骨牡蛎湯の 症例もそうですが、私の臨床経験では柴胡剤は睡眠の質を 良くします。レム睡眠の深度には1~4度の4段階がありま すが、睡眠に何らかの障害を訴える患者さんの多くは4度 (深睡眠)にいたらずに2~3度で、悪夢を見てウトウトし ている、布団に入っている時間は長くても睡眠の質が良く ありません。そうすると朝起きた時にスッキリと起きられ なかったり、日中に眠気を催しますが、そのような場合は 柴胡剤の選択を考えた方がよいです。逆に問診の際に「昼 間に鬱陶しくてなんだか眠くなる」、「朝、スッキリした気 分で起きられない」は、柴胡剤を選択するうえでの重要な key wordです。本症例は、睡眠の質を改善して、ストレ スの多い職務に精励できるようになったということだと 思います。

#### 幼児のアトピー性皮膚炎に抑肝散

九鬼 寺澤先生から、抑肝散は非常に独創的な優れた処方 であるとのコメントがありましたが、抑肝散が非常に優れた 処方であり、切れ味が良いことを感じた症例を紹介します。

症例は2歳6ヵ月の男児です。生後1ヵ月ころから顔面の 湿疹が出現し、4ヵ月からは湿疹の部位が手足にも拡大し ていました。ステロイド外用剤、抗アレルギー剤による標 準的な治療が行われていましたが、改善に乏しく、漢方治 療を希望して当院を受診されました。

# 総合討論



現症は、皮膚全体が非常に乾燥傾向で全身に掻破痕を認め、特に顔や首は赤みが強いという状況です。好酸球が2,016/µL、IgE (RIST)が701IU/mLであり、コナヒョウヒダニ、小麦、大豆、牛乳に対する特異的IgEが高値でした。顔がややむくみ、目が据わり、診察中もまるでモノに憑かれたかのように常に皮膚のどこかを掻きむしっている状態でした。軽い吃りと癇癪を起こすことがあり、不眠傾向です。

初診時は黄耆建中湯エキス顆粒(3g分2)を投与しました。エキス剤をお湯で溶いて寒天で固めて食べさせることで服用できたことから6g分2に増量しました。ところが滲出傾向が強くなったため服用を中断したところ元に戻ったとのことでした。そこで第3診(6週後)で抑肝散エキス2.5g分2に転方しました。第4診(9週後)では、顔面の発赤・掻破痕が著明に改善し、体幹の皮膚も改善しましたので、5g分2に増量して継続しました。第5診(13週目)では外用は保湿剤のみとなり、さらに癇癪を起こすことが減り、診察室では見違えるように明るくなりました(図3)。その後、季節によって越婢加朮湯や四物湯なども併用しな

がら漢方治療を継続していますが、肘・膝に軽度の湿疹を 認める程度で、ステロイド外用薬をほとんど使わずにすむ ような状態を維持しています。

本症例もアトピー性皮膚炎の悪循環に陥っていたと思われます。痒いから掻く、掻くと皮膚のバリア機能が破綻して被刺激性が亢進してさらに痒くなるという悪循環と、痒みは不眠やイライラにもつながり、それが痒みを増幅するという心身医学的な悪循環もあります(図4)。そして、この悪循環が解消されれば自然治癒力が発揮され、皮膚の改善とともに成長期の子供は心身に目覚しい成長を見せてくれます。このような治療の場に立ち会うことができたことの感動と、漢方治療の素晴らしい可能性を実感した症例です。

寺澤 抑肝散がひどい皮膚症状に効くということは、皮膚 科の大家でいらっしゃる二宮文乃先生(アオキクリニック:熱海市)の著書にも多く記載されています。先達が執 筆された書籍や専門領域の先生の論文はしっかり読んで おかなければならないと改めて思いました。その後、先生

# 図3 抑肝散投与前後の顔貌の変化 第2診: 抑肝散服用前 第4診: 抑肝散3週服用後



こんな時には漢方を-私自身が感動した症例-



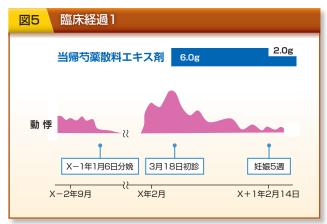
は抑肝散で上手く治療できた症例をお持ちですか。

九鬼 このように劇的に効いた症例はありませんが、抑肝 散に特有の心身の状態に着目すれば皮膚症状に限らず、い ろいろな疾患にも効果があると思い、現在治療中の症例が ありますので、改めて報告したいと思います。

#### 不安を伴う難治性の動悸に当帰芍薬散

小林 症例は31歳女性(主婦)で、主訴は動悸です。妊娠中のX-2年9月に脈の不整を自覚し、循環器専門病院を受診しましたが、検査の結果では心配のない不整脈と説明を受けています。分娩後は一時期、症状は軽快していましたが、X年2月から再び動悸が出現し、不安を伴うようになったため、同年3月18日に漢方治療を希望して当科を受診されました。自覚症状として、乗り物酔いしやすい・立ちくらみ・動悸・息切れ・むくみなどの水滞を示唆する所見の他に、寒がり・冷えるなど冷えの関与も推定されました。他覚所見では、脈候や舌所見から冷えや水滞の存在が、臍傍圧痛から瘀血の存在が示唆され、当帰芍薬散の適応と考えました。

当帰芍薬散料エキス剤6.0g/日の服用を開始したところ、動悸は漸次軽減しました。翌年2月には第2子を妊娠(妊娠5週)したとのことで、2.0g/日の服用をしばらく継続後に廃薬としました(図5)。ところが5月14日に発作性心房細動のため、再度循環器専門病院を受診し入院しました。発作性心房細動はこの1回のみでしたが、発作に対する不安とそれに伴う動悸でさらに不安が増強されるという悪循環の状況でした。ジゴキシン(0.125mg)とアテノロール(25mg)では不安も動悸も軽減せず、当帰芍薬散が動悸に効いていたことを思い出して手持ちの残薬を服用したところ、動悸が軽快傾向を示したため、当科を受診しました





(**図6**)。患者さんからは飲んで良くなったばかりか、とても安心したという感想を述べられたことが印象的でした。

当帰芍薬散は、適応病態すなわち証を正しく把握することで様々な疾患や症状に広く応用できることが知られている方剤であり、証に随うことによって広く応用できることを実感しました。

# 総合討論



寺澤 当帰芍薬散は、漢方治療をされている先生であれば、皆さん使っておられると思いますが、大抵は固定観念の中で使っているのではないかと思います。当帰芍薬散が実は動悸や胸の煩わしい感じ(煩悸)に用いることは吉益南涯も記載しており、多くの先人はその効果を実感しています。どのように固定観念の枠を外すか、物事はあるレベルのところで枠にはまって考えるのではなく、もう少し発想の転換をすること、いつも自分のモチベーションを高めていくことが必要です。本を読むことも大事ですし、患者さんの訴えを謙虚によくお聞きする、そしてそれをフィードバックすることが必要でしょう。

この症例は、β遮断薬とジゴキシンを切ることも考えて良いと思いますが、それが難しいのは先程も申し上げた、医師同士の相互不干渉が遠慮につながっていると思います。特にこの症例は妊娠中でもあるし、切ったほうが良いかもしれませんね。

#### 易疲労感、体重減少、鬱状態に葛根湯

長坂 症例は64歳の男性、主訴は、易疲労感と鬱状態です。 5年前に定年退職した後、仕事がなく、現役でバリバリ 働いている妻からは家で暇そうにしていると怒られ、非常 に肩身の狭い思いをしている患者さんです。妻に怒られる ためか不眠となり、トリアゾラムを服用しています。補中 益気湯エキス、抑肝散エキスを処方されていましたが無効 であり、体重は50kgから43kgまで減少しました。精神科 では、パロキセチン塩酸塩水和物とアルプラゾラムが処方 されましたが、かえって悪化しています。この年から地区 の役員になり、山仕事をしなければならなくなりました が、「自宅の庭仕事だけでも疲れてしまうのに、山仕事ま でできない」、ということで当科を受診しました。 和漢診療学的所見(図7)から、気虚を目標に葛根湯エキス2.5g(1包)を処方したところ、驚いたことに非常に元気が出て、毎月2日間連続の山仕事ができるようになりました。食欲も出て、体重は43kgから49kgまで増加し、鬱状態も改善しました。

葛根湯は非常に幅広く用いられる方剤で、副鼻腔炎や鼻炎、あるいは易疲労感や肩こりの患者さんにも用いられます。また、風邪に用いる方剤としても有名ですが、風邪をひいてから服用するのではなく、風邪をひいたかもしれないというときに服用すると風邪をひかないですむ、というような風邪の予防薬としての効果は絶大であり、患者さんにも非常に喜ばれています。また、最近増加傾向にある疼痛疾患に対しても葛根湯や桂枝湯の加味方が有効であり、いろいろな場面に使えると思います(図8)。

寺澤 定年後に目的がなくなってしまった方の扱い方を考えるうえで、非常に興味深い症例ですね。町の役員になって、山に入ったのが葛根湯とともに効いているのでしょう。また、7.5gを用いるのではなく、2.5gと少量を用いたところがまた面白いですね。数年前に土佐寛順先生

#### 図7 症例の和漢診療学的所見

#### 自覚症状

疲れやすい、食欲がない、寒がり、寝付きが悪い、 眠りが浅い、肩がこる

#### 他覚症状

四逆、眼の周りのクマ、皮膚枯燥

脈 候:浮沈、虚実中間

舌候:暗紫色、中央に亀裂、やや腫大

腹候:腹力やや軟弱、軽度の右胸脇苦満、 軽度の腹直筋攣急、小腹不仁

こんな時には漢方を-私自身が感動した症例-

#### 図8 葛根湯

- 鼻炎、副鼻腔炎の患者が増えている。
- 易疲労感、肩こりの患者が増えている。
- 風邪の予防薬として効果は絶大である。風邪をひいてから服用するのではなく、風邪にかかったかもしれない? というときに服用すると風邪にかからなくて済む。
- 風呂に入ると改善するリウマチなどの疼痛疾患に 葛根湯、桂枝湯加味方は有効である。

(土佐クリニック:さいたま市)が酸棗仁湯で不眠症を治療した症例では、1包では症状改善は得られるが、3包を使うとかえって具合が悪いという症例を報告しています。漢方薬は必ずしも用量依存性が直線的なものばかりではなく、少量投与でちょっとしたきっかけを与えることで、症状が改善することがあります。

#### 逆もまた真なり ~ 中庸化作用

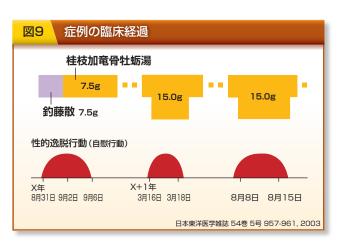
田原 以前、老人病院(療養型病院)に勤務していた際に治療に難渋した性的逸脱行動の症例です。性的逸脱行動について調べてみましたが、対処法がありません。かつてはmajor tranquilizerを使って寝かせる、などの記載もありましたが、転倒の危険があるため現在では推奨されておらず、非常に困った症例です。

性的症状に用いる方剤には桂枝加竜骨牡蛎湯が挙げられますが、使用目標は、虚弱で驚きやすい、悪夢を見る、不眠、性的神経衰弱、腹部大動脈拍動触知、とされています。症例は71歳男性で、主訴は自慰行動です。結核(20歳代)と大腸癌切除(X-6年)の既往があり、X-3年に脳梗塞と診断され、その後徐々に見当識障害が出現しています。

X年6月には前立腺肥大症の診断で経尿道的前立腺切除術を施行され、リハビリ目的で同年8月23日に演者が勤務していた病院に転院しました。

改訂長谷川式簡易知能評価スケールは9点、自覚症状は 不明ですが、無気力な顔貌で、軟便傾向を認めました。脈 候は硬脈、舌候は湿潤した白苔、腹候は腹力中等度からや や軟、両腹直筋緊張、心下痞、右胸脇苦満と小腹不仁を認 めましたが、臍上悸などの腹部大動脈の拍動は触知しませ ん。脈も動脈硬化性の非常に硬い脈であり、湿潤した白苔 で、腹力はやや軟弱、心下痞、右胸脇苦満、両腹直筋の緊 張、小腹不仁を認めました。

まず、釣藤散エキス剤(3包/日)を投与しましたが、1週間ほどしてあたりかまわず性器を露出して自慰行動がみられるようになりました。しかし、対応策がありません。そこでふと、桂枝加竜骨牡蛎湯を思い出し、「中庸化作用」を期待してエキス剤7.5g/日を処方したところ、服用3日ほどで問題行動が消失しました。同様の行動が同年3月頃に起こりましたので、今度は桂枝加竜骨牡蛎湯15.0g/日を投与したところ、服用2日で問題行動は消失、その後も同様の問題行動がありましたが、15.0g/日の投与で乗り切りました(図9)。



# 総合討論



類似の症例で桂枝加竜骨牡蛎湯の効果を確認しましたが、いずれも腹動はありませんでした。横山先生のご講演にもありましたように胸脇満微結を目標に、腹候に則るべきところとは思いますが、性的逸脱行動に関しては腹動は目標にならないと思われます(図10)。

桂枝加竜骨牡蛎湯は通常はインポテンツの方剤ですが、 本症例は亢進した症例に対する桂枝加竜骨牡蛎湯の中庸 化作用ではないかと思っています。

寺澤 田原先生は簡単に述べていますけれども、臨床的には極めて大事な話しですね。このような問題行動があると、大抵は向精神薬でセデーションをかけますが、全体を見ると、桂枝加竜骨牡蛎湯は特に大脳生理学的には、Limbic Systemを制御しているというようなことを考えた方がいいことがあるかもしれないと考えながら聞いていました。

#### 皮膚疾患に対し十全大補湯が奏効した二症例

地野 私は、十全大補湯をしばしば皮膚疾患に使用しています。そこで、十全大補湯を用いて印象に残った2症例を

ご紹介します。

花輪壽彦先生(北里大学東洋医学総合研究所)は、皮膚疾患に対する十全大補湯の口訣として、「思わず目を背けたくなるような、一皮ズルッと剥け局面の隆起がなく、ドロッとしたびらん・落屑を伴うもので疲弊した状態」に用いると述べていますが、まさにそのような症例です。

一例目は、73歳の男性、原因不明の全身の皮疹と瘙痒を主訴に当科を受診されました。初診時には、発赤と落屑が著明で、診察ベッドが落屑だらけになるという状態でした。和漢診療学的所見では気血両虚で陰虚証でしたので、十全大補湯(煎薬)を処方しました。服用2週間後には、落屑もほとんどなくなるほど著明に改善しました(図11)。

二例目は、58歳のアトピー性皮膚炎の男性です。初診時には滲出液が著明で、両腕にタオルを巻いて受診されました。炎症のために肘が浮腫状になっており、腕も曲げにくいという状況です。まず消風散を用いましたが、約1ヵ月の服用でも無効であったため、十全大補湯エキスに転方しました。服用後1週間で滲出液が消失し、その1ヵ月後には腕も曲げやすくなりました。検査上も好酸球やIgEの値が改善しており、十全大補湯が何らかの免疫系を調整していると考えられました(図12)。

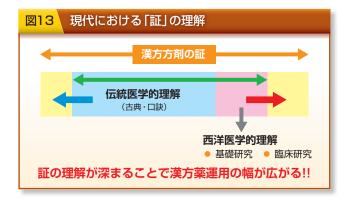
十全大補湯はTh-1/Th-2バランスをTh-1の方にシフトさせる方剤であることを動物実験で私自身が確認しており、紹介した症例もこれを裏付けていると考えられます。このように、方剤の薬理作用も念頭に置くと、さらに応用範囲が広がると思います。

漢方方剤の証を理解するためには、伝統医学的な理解と 西洋医学的な理解の両者が必要です。専門医の指導を受け たり、古典を読んで伝統医学的な理解を広げることはもち ろん大事ですが、西洋医学的なエビデンスを取り入れるこ とで、さらに証の理解が深まり、漢方薬の運用の幅が広が

こんな時には漢方を-私自身が感動した症例-







ることで、和漢診療学の実践につながるのではないかと 思っています(図13)。

**寺澤** 漢方には2000年以上の歴史がありますが、21世紀において漢方診療を行っている私たちは、西洋医学と漢方医学の両方を勉強しているわけですから、そこから新しい発見があってしかるべきです。たとえば、Th-2にシフトすることによって様々な支障をきたしている病態において、それを十全大補湯によってTh-1優位にして免疫反応あるいはアレルギー反応そのものを改善している、といった背景がわかってくることで、非常に内容が豊かになって

きます。さらに欲を言えば、十全大補湯を選択するか、他の方剤を選択するかを迷ったときに、それに対する解答を与えてくれるような客観的なデータがあれば、従来の腹候や脈候だけに頼っていた医療体系は、さらにもう一回り、大きな精度の高いものになっていくのではないかと思っています。

「こんな時には漢方を - 私自身が感動した症例-」と題して、私もびっくりするような症例を多数紹介していただき、大いに勉強させていただきました。

本日はありがとうございました。